

11月20日(日)14:30より勝川ルネック多目的ホールにてレフェリー勉強会を開催しました。今年度第2回は、上田益也Jリーグ担当審判員に講師をお務めいただきました。

本日のメインテーマは「サッカーをより魅力的なものにするためには～選手・指導者・審判員、それぞれの立場から～」でした。

参加者全員でテクニカルエリアに関する競技規則の項目を確認した上で、実際の事例を基に、ディスカッションを行いました。その次に、審判員と指導者および選手の1対1で『審判員が見えにくい場所』、『指導者から見やすい場所』についてそれぞれの立場から考えました。これらが重なった場所で何かしらの事象が起こると、意見の相違が起きやすいことに気づきました。そこで、少しでも審判員が死角を減らすために審判チームが協力している場面を紹介すると、参加者から「なるほど」、「そうか」など多くの学びがありました。

講師を担当するJリーグ担当審判員の割当が多忙を極める中、無事に第2回も開催することができました。引き続き、人数制限や事前申込み、健康チェックカードの提出など感染症対策を実施しての開催となりますが、次回以降も多くのサッカーファミリーの方々にご参加いただけますと幸いです。なお、今回の参加者は16名でした。多くのご参加ありがとうございました。

